

請願第 14号

平成27年12月 9日

川崎市議会議長 石田 康博 様

川崎区
全日本年金者組合
川崎市支部協議会

年金削減を取りやめ、マクロ経済スライドの廃止、最低保障年金
制度を求める請願

請願の理由

貴職におかれましては、市民・高齢者の生活向上と健康増進へ御尽力されていることに敬意を表します。

国・厚労省は、年金財政の破綻を理由に、今年度より「マクロ経済スライド」を発動し、30年に及ぶ年金削減に踏み切りました。国民年金だけで生活する1,300万人の平均年金月額が4万9,000円、女性の年金は3万円台となっています。この低年金で暮らす高齢者も、毎年約1%の年金引下げが行われます。高齢化の進行とともに一人暮らしや老々世帯が増え、餓死や孤独死の痛ましい報道が相次ぐほど、高齢者の貧困は深刻です。

さらに、年金削減は高齢者だけの問題ではありません。現役労働者の30年後の年金は、下げ続けられて最低の年金となります。非正規労働者が40%を超え、年収200万円以下のワーキングプアが増加している折、30年も続く年金引下げは将来に希望のないモラルハザード社会を招くものとなります。

また、高齢者の年金に依存度の高い地域社会経済や自治体にとっても大きな打撃となります。年金削減は、超高齢化社会における高齢化対策に大きな影響をもたらすものです。

高齢者の生活を支える年金の削減を取りやめ、「マクロ経済スライド」の廃止、全ての高齢者に給付される「最低保障年金制度」を実現することを、貴議会の

総意で国に意見書をあげていただくようお願いいたします。

請 願 の 要 旨

- 1 年金削減を取りやめ、「マクロ経済スライド」を廃止すること。
- 2 高齢者全てに給付される「最低保障年金制度」を実現すること。

紹介議員

井 口 真 美